

令和8年3月27日

世田谷区立八幡中学校  
校長 臼田 治夫 様

世田谷区立八幡中学校  
学校関係者評価委員会  
委員長 田中 彰夫

令和7年度世田谷区立八幡中学校 学校関係者評価結果について  
(前年度の改善方策について実行した改善結果を含む)

本年度の学校関係者評価の結果を分析・検討し、並びに自己評価の報告を受け、以下のようにとりまとめましたので、ご報告いたします。

今回の学校関係者評価委員会の報告を次年度の学校経営にご活用いただき、八幡中学校がなお一層発展されることを委員会一同祈念いたします。

## 1 はじめに

本年度も、生徒、保護者、地域へのアンケートを実施した。本年度から、区から学校に質問項目の設定を委ねられた。質問項目の設定にあたり、今回は必要に応じて新規項目を設定したが、回答者の負担を考慮し質問数を減らすことを基本方針とした。その結果、質問数は従来の生徒 35、保護者 45、地域 15 から、生徒 26、保護者 36、地域 15 となった。また、今回の回収率は、生徒 82%、保護者 75%であった。

回答については、従前同様に A「とても思う」・B「そう思う」・C「あまり思わない」・D「思わない」及びE『分からない』の5つの選択肢を用意した。

分析については、概要を把握することを目的に、各設問回答から『肯定的評価』(A「とても思う」・B「そう思う」と『否定的評価』(C「あまり思わない」・D「思わない」、及び『分からない』(E)に分けてその割合を比較した。あわせて、経年比較が可能な項目については、2年ないし3年間の様子を比較した。また、本報告書では、昨年度の学校関係者評価の結果を受け、学校側の改善・努力内容についても記述した。結果として、ごく一部の項目には厳しい評価も見られたが、ほとんどの項目については肯定的な評価であり、学校側の継続的な努力が結果としてあらわれている様子が見受けられる。

## 2 調査結果

### 『肯定的評価』と『否定的評価』の割合

#### ① 生徒の評価

別添資料1は、生徒について質問項目順に集計結果を、『肯定的評価』（A「とても思う」・B「そう思う」）、『否定的評価』（C「あまり思わない」・D「思わない」）、『分からない』（E）別に記載したものである。

全26項目（共通項目）中

『肯定的評価』		『否定的評価』	
90%以上のもの	13項目	30%以上のもの	0項目
80%以上 90%未満のもの	8項目	20%以上 30%未満のもの	4項目
70%以上 80%未満のもの	3項目	10%以上 20%未満のもの	6項目
60%以上 70%未満のもの	2項目	10%未満のもの	16項目
50%以上 60%未満のもの	0項目		
50%未満のもの	0項目		

#### ② 保護者の評価

別添資料2は、保護者について質問項目順に集計結果を、『肯定的評価』（A「とても思う」・B「そう思う」）、『否定的評価』（C「あまり思わない」・D「思わない」）、『分からない』（E）別に記載したものである。

全36項目（共通項目）中

『肯定的評価』		『否定的評価』	
90%以上のもの	5項目	30%以上のもの	0項目
80%以上 90%未満のもの	16項目	20%以上 30%未満のもの	5項目
70%以上 80%未満のもの	13項目	10%以上 20%未満のもの	7項目
60%以上 70%未満のもの	1項目	10%未満のもの	24項目
50%以上 60%未満のもの	1項目		
50%未満のもの	0項目		

#### ③ 地域の方の評価

別添資料3は、地域について質問項目順に集計結果を、『肯定的評価』（A「とても思う」・B「そう思う」）、『否定的評価』（C「あまり思わない」・D「思わない」）、『分からない』（E）別に記載したものである。

全15項目（共通項目）中

『肯定的評価』		『否定的評価』	
90%以上のもの	2項目	30%以上のもの	0項目
80%以上 90%未満のもの	4項目	20%以上 30%未満のもの	2項目
70%以上 80%未満のもの	3項目	10%以上 20%未満のもの	5項目
60%以上 70%未満のもの	2項目	10%未満のもの	8項目
50%以上 60%未満のもの	3項目		
50%未満のもの	1項目		

### 3 昨年度の評価で改善・努力した点

#### (今年度、改善・努力してきた点)

##### 【学校生活について】

本校の教育活動の柱を「構成的グループエンカウンター」による人間関係作りに置いている。令和6年度より年間の構成的グループエンカウンターの取り組みに重きを置き、綿密な計画を立てて大きな行事の前後にこのプログラムを実施してきた。特に4月の全学年・特別支援学級による縦割り班による全校校外学習を行い、その縦割り班による活動の範囲を年度ごとに広げてきた。令和7年度の大きな改善点としては、生徒会による「縦割り班全校〇×クイズ大会」があげられる。これは区の生徒会サミットの3つのテーマの一つである「縦割り班活動の充実」による新たな試みとなっている。縦割り班ならではの行事を、教師ではなく生徒会の生徒による企画として行った。困ったときには先輩に頼る・先輩が見本となるという八幡中ならではの伝統と重なる試みとなった。

##### 【学習指導について】

#### 1 構成的グループエンカウンターを活用した授業実践

今年度は英語科において「構成的グループエンカウンター」のねらいを取り入れた教科指導にも挑戦をした。校内研修の一つとして2学年英語の授業において、教科の目標・ねらいを踏まえた、オリジナルの教材を工夫し、人間関係向上×学習実績をクリアすべき授業を行った。当日の生徒の様子は多くの笑顔にあふれた、良好な人間関係の在り方を再認識できるものであった。構成的グループエンカウンターはゲーム的・チームビルディング的な要素が必要なので、これを各教科でどのように展開するのが今後の課題となる。

#### 2 生徒主体の授業展開の工夫と学び舎小学校との連携

いわゆる「講義型授業」からの脱却と、スムーズな小中連携を目指す取り組みとして、年3回の学び舎の日を用いた研修を行った。せたがや探求的な学びワーキンググループのメンバーである副校長が、秋田県大館市への視察を還元研修という形で校内・学び舎の日に、現地の取り組みと研究事例、幼小中連携の提案を行った。生徒が主体となる学習の時間を「さぎそうタイム」として、個人・ペアワーク・グループワーク・フリーな学び・生徒司会による進行のパターンを基本として授業展開を提案した。今後、これらをどのように充実を図るかが検討事項となる。

##### 【地域との連携について】

その基本は「ボランティア」としての地域へのかかわりがメインとなる。特に、青少年九品仏地区委員会による三大多行事（親子盆踊り大会、わくわくウォークラリー、新春こどもまつり）へのボランティアとして多くの生徒が参加している。さらには学び舎小学校2校（八幡小学校・九品仏小学校）への運動会ボランティア、令和6年度からスタートした学び舎幼稚園（小羊幼稚園）への運動会ボランティアへの参加など、活動の幅を広げている。工夫をした点としては、令和6年度末にPTAと連携して作成した八幡中学校ピブスがあげられる。ボランティアに参加する際に貸し出し、身に付けることで、ボランティアに参加している実感や自己有用感、責任感や達成感の向上が見られた。このような地域への貢献は、今後も大切にしていきたい。

## 4 分析結果ならびにコメント

### (1) 分析結果

#### ①生徒について

##### i) 『肯定的評価』と『否定的評価』の本年度上位項目と下位項目

###### 『肯定的評価』

別添資料4は、『肯定的評価』について降順でならべたものである。上位2項目は以下の通りである。

- 1-(6)「数学や英語の授業において、私たちの学習状況に合わせた少人数授業が設定されている。」96%
- 2-(8)「先生は、学校行事で私たちの意欲を大切にしている。」96%

###### 『否定的評価』

別添資料5は、『否定的評価』について降順でならべたものである。下位2項目は以下の通りである。

- 3-(7)「私はボランティア活動に参加することを通して、学び舎の小学校や地域に貢献している。」27%
- 3-(6)「私は、塾で学習をしている。」24%

##### ii) 『肯定的評価』と『否定的評価』の昨年度対比 ※質問項目の変更がないもののみ比較

###### 『肯定的評価』の変化

別添資料6は、『肯定的評価』について、昨年度との差(R7-R6)を降順でならべたものである。上位3項目と下位3項目は以下の通りである。

###### <上位3項目>

- 1-(10)「私は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。」6ポイント
- 1-(9)「学校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。」5ポイント
- 1-(5)「授業において、先生は私たちが理解しやすいように指導方法を工夫している。」5ポイント

###### <下位3項目>

- 1-(7)「通知表の評価は、納得できる。」-12ポイント
- 3-(3)「私は、部活動が楽しい。」-6ポイント
- 2-(5)「私は、先生が指導した、学校での過ごし方やルールについて理解できる。」-6ポイント

###### 『否定的評価』の変化

別添資料7は、『否定的評価』について、昨年度との差(R7-R6)を昇順でならべたものである。上位2項目と下位3項目は以下の通りである。

###### <上位2項目>

- 1-(10)「私は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。」-7ポイント
- 3-(6)「私は、塾で学習をしている。」-5ポイント

###### <下位3項目>

- 1-(7)「通知表の評価は、納得できる。」9ポイント
- 2-(1)「学校生活が楽しい。」5ポイント
- 3-(3)「私は、部活動が楽しい」5ポイント

iii) 3年間の傾向 ※質問項目の変更がないもののみ比較

別添資料8は、生徒について質問項目順に集計結果を、『肯定的評価』(A「とても思う」・B「そう思う」)、  
『否定的評価』(C「あまり思わない」・D「思わない」)、『分からない』(E)別に、令和5年度から令和7  
年度まで記載したものである。

<3年間で10ポイント以上差がある項目> 上段：令和5年度、中段：令和6年度、下段：令和7年度

単位：%

設問大番号	設問小番号	質問内容	AB	CD	E
旧独自	3	通知表の評価は、納得できる。	85	10	5
旧独自	3	通知表の評価は、納得できる。	91	6	4
1	7	通知表の評価は、納得できる。	79	14	7
旧4	4	学校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。	71	22	7
旧4	4	学校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。	77	17	7
1	9	学校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。	82	12	6
旧4	2	私は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。	59	37	4
旧4	2	私は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。	67	27	5
1	10	私は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。	73	20	7

iv) 学年別の傾向

別添資料9は、生徒について質問項目順に集計結果を、学年別に、『肯定的評価』(A「とても思う」・B「そ  
う思う」)、『否定的評価』(C「あまり思わない」・D「思わない」)、『分からない』(E)別に記載したもので  
ある。

<3学年の間で、『肯定的評価』が10ポイント以上差のある項目> 上段：1年生、中段：2年生、下段：3年生

●1年生が最も高い項目

単位：%

設問大番号	設問小番号	質問内容	AB	CD	E
1	7	(7)通知表の評価は、納得できる。	83	14	3
			82	9	9
			72	20	8

●3年生が最も高い項目

単位：%

設問大番号	設問小番号	質問内容	AB	CD	E
1	8	(8)自分の進路や将来の仕事について考える授業がある。	76	17	7
			79	14	7
			86	11	3
1	9	(9)学校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。	78	16	7
			77	16	7
			91	6	3
1	10	(10)私は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。	76	19	5
			65	26	9
			78	15	6
2	7	(7)学校行事を通して、私は活躍できていると感じたり、達成感を得たりする場面がある。	86	9	5
			96	4	0
			97	3	0
3	5	(5)私は、家庭の学習でiPadなどICT機器を活用している。	74	24	2
			74	19	7
			92	5	3
3	6	(6)私は、塾で学習をしている。	57	34	9
			58	33	9
			86	6	8
3	7	(7)私はボランティア活動に参加することを通して、学び舎の小学校や地域に貢献している。	57	36	7
			56	33	11
			85	14	2

## ②保護者について

### i) 『肯定的評価』と『否定的評価』の本年度上位項目と下位項目

#### 『肯定的評価』

別添資料 10 は、『肯定的評価』について降順でならべたものである。上位2項目は以下の通りである。

2-(1)「本校の学校生活は、生徒たちにとって楽しい。」93%

2-(7)「学校行事を通して、生徒が活躍できていると感じたり、達成感を得たりする場面がある。」93%

#### 『否定的評価』

別添資料 11 は、『否定的評価』について降順でならべたものである。下位5項目は以下の通りである。

3-(7)「私は、学校行事、PTA や地域主催の行事などに協力している。」27%

1-(6)「本校の通知表の評価は、納得できる。」21%

3-(6)「私は、学校公開や保護者会に参加している。」21%

4-(6)「お子様は、体力の向上や健康な生活に自発的に取り組んでいる。」21%

4-(5)「お子様は、家庭の学習で iPad など ICT 機器を活用している。」21%

### ii) 『肯定的評価』と『否定的評価』の昨年度対比 ※質問項目の変更がないもののみ比較

#### 『肯定的評価』の変化

別添資料 12 は、『肯定的評価』について、昨年度との差 (R7-R6) を降順でならべたものである。上位3項目と下位3項目は以下の通りである。

##### <上位2項目>

3-(2)「「学び舎」の区立(幼稚園)小学校について情報が提供されている。」11ポイント

1-(3)「本校は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。」10ポイント

##### <下位2項目>

1-(6)「本校の通知表の評価は、納得できる。」-8ポイント

3-(3)「本校は、学校公開や保護者会などで、生徒の様子が分かる。」-4ポイント

#### 『否定的評価』の変化

別添資料 13 は、『否定的評価』について、昨年度との差 (R7-R6) を昇順でならべたものである。上位3項目と下位3項目は以下の通りである。

##### <上位3項目>

4-(3)「部活動は、生徒たちにとって楽しい。」-3ポイント

2-(8)「本校は、学校行事で生徒たちの意欲を大切にしている。」-2ポイント

2-(4)「本校は、学校での過ごし方やルールについて、生徒に考えさせる指導をしている。」-2ポイント

##### <下位3項目>

1-(7)「本校は、生徒の進路や将来の仕事について考える授業がある。」7ポイント

1-(6)「本校の通知表の評価は、納得できる。」6ポイント

3-(2)「「学び舎」の区立(幼稚園)小学校について情報が提供されている。」6ポイント

iii) 3年間の傾向 ※質問項目の変更がないもののみ比較

別添資料 14 は、保護者について質問項目順に集計結果を、『肯定的評価』(A「とても思う」・B「そう思う」)、『否定的評価』(C「あまり思わない」・D「思わない」)、『分からない』(E) 別に、令和5年度から令和7年度まで記載したものである。

<3年間で10ポイント以上差がある項目> 上段：令和5年度、中段：令和6年度、下段：令和7年度

単位：%

設問大番号	設問小番号	質問内容	AB	CD	E
旧1	4	本校は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。	58	11	31
	4	本校は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。	68	7	25
	1	本校は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。	78	8	13
旧4	2	本校は、子どもの進路や将来の仕事について、考える授業がある。	61	13	27
	2	本校は、子どもの進路や将来の仕事について、考える授業がある。	78	3	18
	1	本校は、生徒の進路や将来の仕事について考える授業がある。	77	10	13
旧4	3	本校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。	51	21	27
	3	本校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。	66	10	23
	1	本校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。	74	15	12
旧8	3	「学び舎」の区立(幼稚園)小学校について情報が提供されている。	47	23	30
	3	「学び舎」の区立(幼稚園)小学校について情報が提供されている。	49	11	40
	3	「学び舎」の区立(幼稚園)小学校について情報が提供されている。	59	17	24
旧9	1	本校は、保護者に指導の重点を伝えている。	72	12	16
	1	本校は、保護者に指導の重点を伝えている。	77	4	19
	3	本校は、学校公開や保護者会などで、保護者に指導の重点を伝えている。	85	7	8
旧9	2	本校は、教職員が指導の重点を理解して教育活動に取り組んでいる。	70	5	24
	2	本校は、教職員が指導の重点を理解して教育活動に取り組んでいる。	78	1	22
	3	本校は、教職員が指導の重点を理解して教育活動に取り組んでいる。	81	5	14
旧11	1	本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	67	8	24
	1	本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	73	7	20
	3	本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	80	8	12
旧11	2	本校は、地域の活動などに協力的である。	74	4	22
	2	本校は、地域の活動などに協力的である。	79	2	19
	3	本校は、地域の活動などに協力的である。	84	6	10

iv) 学年別の傾向

別添資料 15 は、保護者について質問項目順に集計結果を、学年別に、『肯定的評価』(A「とても思う」・B「そう思う」)、『否定的評価』(C「あまり思わない」・D「思わない」)、『分からない』(E) 別に記載したものである。

<3学年の間で、『肯定的評価』が10ポイント以上差のある項目> 上段：1年生、中段：2年生、下段：3年生

●1年生が最も高い項目

単位：%

設問大番号	設問小番号	質問内容	AB	CD	E
4	6	(6)お子様は、体力の向上や健康な生活に自発的に取り組んでいる。	81	17	2
			71	19	10
			70	27	3

## ●2年生が最も高い項目

単位: %

設問大番号	設問小番号	質問内容	AB	CD	E
1	1	(1)本校は、学習課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	70	6	25
			88	2	10
			78	5	17
1	3	(3)本校は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。	68	13	19
			90	6	4
			78	6	16
1	4	(4)本校は、生徒が理解しやすいように指導方法を工夫している。	74	9	17
			88	4	8
			70	11	19
1	6	(6)本校の通知表の評価は、納得できる。	74	19	8
			75	17	8
			63	27	11
1	9	(9)本校は、キャリア・パスポートに書いた目標について、生徒たちに考えさせて行動している。	51	15	34
			67	10	23
			63	11	27
2	3	(3)本校の生徒は、学級や学年で活動するとき、話し合いなどを通して意見が尊重されている。	77	9	13
			92	2	6
			86	5	9
2	7	(7)学校行事を通して、生徒が活躍できていると感じたり、達成感を得たりする場面がある。	87	8	6
			98	0	2
			94	3	3
3	8	(8)本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	72	11	17
			85	8	6
			83	6	11
4	3	(3)部活動は、生徒たちにとって楽しい。	75	13	11
			96	0	4
			84	8	8
4	4	(4)部活動は、生徒たちの健全育成に寄与している。	75	13	11
			94	2	4
			83	8	9
4	7	(7)学校と保護者の間で、十分な対話の場がある。	74	21	6
			85	8	6
			84	13	3

## ●3年生が最も高い項目

単位: %

設問大番号	設問小番号	質問内容	AB	CD	E
1	2	(2)本校の授業で、考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。	77	6	17
			85	4	10
			88	5	8
1	7	(7)本校は、生徒の進路や将来の仕事について考える授業がある。	74	8	19
			73	15	13
			83	9	8
3	2	(2)「学び舎」の区立(幼稚園)小学校について情報が提供されている。	58	15	26
			50	21	29
			67	16	17
3	7	(7)私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などに協力している。	64	36	0
			69	25	6
			75	22	3
3	9	(9)本校は、地域の活動などに協力的である。	75	9	15
			83	4	13
			91	5	5
4	5	(5)お子様は、家庭の学習でiPadなどICT機器を活用している。	70	26	4
			71	25	4
			83	14	3

### ③地域について

#### i) 『肯定的評価』と『否定的評価』の本年度上位項目と下位項目

##### 『肯定的評価』

別添資料 16 は、『肯定的評価』について降順でならべたものである。上位2項目は以下の通りである。

2-(1)「学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。」94%

3-(6)「八幡中学校は地域運営学校として、地域と協力して子どもを育てている。」94%

##### 『否定的評価』

別添資料 17 は、『否定的評価』について降順でならべたものである。下位2項目は以下の通りである。

3-(1)「学校の重点目標が地域にも明確に示されている。」28%

3-(4)「学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。」22%

#### ii) 『肯定的評価』と『否定的評価』の昨年度対比 ※質問項目の変更がないもののみ比較

##### 『肯定的評価』の変化

別添資料 18 は、『肯定的評価』について、昨年度との差（R7-R6）を降順でならべたものである。昨年度を上回った項目はなかった。下位2項目は以下の通りである。

<下位2項目>

2-(4)「学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。」  
-28ポイント

3-(4)「学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。」-28ポイント

##### 『否定的評価』の変化

別添資料 19 は、『否定的評価』について、昨年度との差（R7-R6）を昇順でならべたものである。上位3項目と下位2項目は以下の通りである。

<上位2項目>

3-(5)「学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。」-4ポイント

2-(1)「学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。」0ポイント

3-(6)「八幡中学校は地域運営学校として、地域と協力して子どもを育てている。」0ポイント

<下位2項目>

2-(4)「学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。」  
17ポイント

3-(2)「地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。」7ポイント

#### iii) 3年間の傾向 ※質問項目の変更がないもののみ比較

別添資料 20 は、保護者について質問項目順に集計結果を、『肯定的評価』（A「とても思う」・B「そう思う」）、『否定的評価』（C「あまり思わない」・D「思わない」）、『分からない』（E）別に、令和5年度から令和7年度まで記載したものである。

<3年間で10ポイント以上差がある項目> 上段：令和5年度、中段：令和6年度、下段：令和7年度

設問大番号	設問小番号	質問内容	AB	CD	E
					単位：%
旧2	1	学校行事の内容は充実している。	100	0	0
旧2	1	学校行事の内容は充実している。	96	0	4
1	2	学校行事の内容は充実している。	83	6	11
旧2	2	事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	91	0	9
旧2	2	事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	81	4	15
1	3	事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	78	6	17
旧3	2	「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	87	9	4
旧3	2	「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	70	15	15
2	2	「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	61	17	22
旧3	4	学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	74	0	26
旧3	4	学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	78	0	22
2	4	学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	50	17	33
旧4	2	地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	78	4	17
旧4	2	地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	78	4	19
3	2	地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	67	11	22
旧5	1	地域の人や施設を教育活動に活かしている。	91	9	0
旧5	1	地域の人や施設を教育活動に活かしている。	78	11	11
3	3	地域の人や施設を教育活動に活かしている。	78	17	6
旧5	2	学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	43	35	22
旧5	2	学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	56	19	26
3	4	学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	28	22	50
旧5	3	学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	70	13	17
旧5	3	学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	52	15	33
3	5	学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	50	11	39

## (2) コメント

### ①「授業・キャリア学習」について

#### i) 生徒、保護者、地域について

生徒については、ほとんどの項目が『肯定的評価』90%以上である。この評価は、学校側の継続的な努力の結果といえる。

保護者については、『肯定的評価』は生徒よりも低い。これは『分からない』が多いため、『否定的評価』は生徒とそれほどの違いはない。従来は学校公開や保護者会などを通じての情報共有がなされてきたが、現在は学校側には土曜日の活動に制約があり、一方で平日の活動が難しい保護者も一定数いることから、今後は従来とは異なる方策の検討も必要になるかもしれない。

地域については、『肯定的評価』は80%前後である。保護者同様に『否定的評価』はさほどない。地域については、本調査の母数が少なく、地域の人すべてを把握することは難しいので、おおむね妥当と考えられる。

#### ii) 良かった点

「進路や将来の仕事に関する情報提供(生徒1-(9)、保護者1-(8))」「キャリア・パスポート(生徒1-(10)、保護者1-(9))」について、生徒も保護者も『肯定的評価』が3年連続で向上している。前者は学校側が生徒に対して様々な情報提供により進路や将来の可能性の幅を広げようと努力している成果であり、後者からは日々の活動によりキャリア・パスポートがようやく認知されてきたことがうかがわれる。

### iii) 気になった点

「通知表の評価（生徒 1-(7)、保護者 1-(6)）」について、生徒も保護者も、『肯定的評価』が昨年に比べて落ち込んでいる。さらに生徒について学年別に比較すると、1年生（94%→83%）、2年生（87%→82%）、3年生（91%→72%）、と1年生と3年生の落ち込み（特に3年生は約20ポイント）が目立っている。さまざまな背景が要因に考えられ、教員に否があると短絡的に結論づけるものではないが、良好な信頼関係がこの一片から崩れることがないように、状況を注視し必要に応じて対応を図ることが望まれる。

## ②「学校生活・学校行事」について

### i) 生徒、保護者、地域について

生徒については、8項目中7項目の『肯定的評価』が90%以上で、残り1項目も88%と大変高い評価を得た。学校側の継続的な努力の結果といえる。

保護者については、前述（授業・キャリア学習）と同様に、『肯定的評価』は生徒よりも低いが、『分からない』が多く、『否定的評価』は生徒とそれほどの違いはない。

地域については、例年通り、「学校からのお知らせなどにより、学校の様子がわかる（2-(1)）」の『肯定的評価』は90%を超えているが、その他の項目は『分からない』が多かった。

### ii) 良かった点

「学校生活が楽しい（生徒 2-(1)、保護者 2-(1)）」、「学校生活で達成感を得ている（生徒 2-(7)、保護者 2-(7)）」は、生徒も保護者も『肯定的評価』が90%を超えている。また、この2つは、生徒において、学年が上がるにつれて『肯定的評価』が高まっている。ただ楽しいだけでなく、「考え行動する」といった学校が目指している項目の『肯定的評価』も高いことから、学校行事を含めた学校生活において、引き続き生徒の自主性を伸ばす教育を行ってほしい。

### iii) 気になった点

特になし。

## ③「学校運営・家庭や地域との連携」について

### i) 保護者、地域について

保護者も地域も、項目によって『肯定的評価』の割合にばらつきがみられた。

### ii) 良かった点

地域における「八幡中学校は、地域と連携して子どもを育てている（3-(6)）」の『肯定的評価』は例年同様に高い評価であった（令和5年度96%、令和6年度100%、令和7年度94%）。地域運営学校としての、学校側の活動の努力が地域に認識されていると考えられる。

### iii) 気になった点

保護者において「学校公開や保護者会への参加(3-(6))」、「学校行事、PTA や地域主催の行事への参加」において、『否定的評価』が20%を超えている(なお、『否定的評価』の中には、参加できないが学校に信任する保護者もいると思われる)。いずれにしても、前述((2)①i))のとおり、従来とは異なる方策の検討が今後必要になるかもしれない。

## ④「その他」について

### i) 生徒、保護者について

経年で比較できる項目については、生徒も保護者も『肯定的評価』は、ほぼ横ばいであった。

生徒の「私は塾で学習している(3-(6))」と「ボランティアに参加することを通して、学び舎の小学校や地域に貢献している(3-(7))」とも、3年生になると『肯定的評価』は大きく(30ポイント程度)増加している。

### ii) 良かった点

生徒の「先生たちは相談に親身になってくれる(3-(2))」は全体で90%を超えて(学年別では、1年生90%、2年生95%、3年生88%)いる。忙しい中でも生徒に親身に対応している教員の様子がうかがわれる。こうした姿が、八幡中の生徒の成長につながるものと考えられる。

### iii) 気になった点

特になし。

## 5. 学校関係者評価委員会としての提言

本年度もほとんどの項目において肯定的な評価であった。これは学校側の継続的な努力の成果である。近年は、生徒間の人間関係づくりや、生徒が主体的に取り組めるような仕掛けづくりにも力を注いでおり、そうした取り組みも功を奏したといえる。引き続き、生徒に寄り添った指導や取り組みを実施してもらいたい。一方で、保護者との情報共有については、社会環境の変化が相まって、従来と同じような形態では難しくなっている面もある。そうしたことについても、工夫や新たな取り組みを期待したい。

以上